

城陽市廃棄物減量等推進審議会会議録

会 議 名 城陽市廃棄物減量等推進審議会
日 時 令和8年（2026年）6月22日（月） 9：30～10：54
場 所 城陽市役所西庁舎4階 403会議室
出席委員 山川会長、北川副会長、井上委員、渡邊委員、生駒委員
以上5名
欠席委員 一井委員、田中委員、川島委員 以上3名
事務局 上羽部長、藤林次長、木村課長、谷口館長、伊庭係長 以上5名
傍 聴 者 なし

次 第

1. 開会
2. 市あいさつ
3. 会議内容
 - (1) 城陽市の一般廃棄物処理状況（令和7年度実績）について
資料1・資料2
 - (2) 城陽市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて
資料3・計画冊子
 - (3) その他
4. 閉会

1. 開会

事務局 定刻になりましたので、始めさせていただきます。

本日3名の委員の欠席を聞いています。

全委員8名のうち5名の委員の出席をいただいております、過半数以上であることから、城陽市一般廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例施行規則第23条第6項で規定する会議の開催要件を満たしていることを報告いたします。

配布資料の確認と一部資料の差し換えをお願いします。

それでは、会長よろしくをお願いします。

会 長 次第に従いまして、市側のあいさつをお願いします。

2. 市あいさつ

上羽部長あいさつ

会 長 ありがとうございました。

3. 会議

(1) 城陽市の一般廃棄物処理状況（令和7年度実績）について

会 長 それでは城陽市の一般廃棄物処理状況（令和7年度実績）についての説明を、事務局から受けたいと思います。

事務局 （事務局より資料に基づいて説明）

会 長 ありがとうございました。説明いただきました。

何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

副会長 ごみ量が計画値より減少していますが、要因として人口減少や市の施策や啓発によるものなのかお聞かせください。

事務局 要因として第一は人口減少によるもの。第二としてリサイクルの推進と考えます。

副会長 先月、ある新聞にごみ量は減少しているが、一人当たりのごみ処理経費は増加しているとありました。人口減でごみ量は減りますが、ごみ処理費や施設の維持管理費等の費用は一定発生します。当組合管内もその傾向が表れると思います。今後、広域化処理の流れになると思われます。

会 長 ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

委 員 資料2のごみ出し支援事業について、利用者数が増加しています。この事業の対象者数と利用者数の割合及び今後増加した場合は対応可能なのかどうかお聞かせください。

事務局 割合についてはデータがなく把握していません。利用者数は増加傾向ですが、対応は可能と考えています。

委 員 私の勤務している事業所で利用者は20名弱で、私の担当している利用者は4名

です。施設に入られたら中止、亡くなった場合は終了となります。高齢者なので利用者のサイクルは早いです。事業の対象になる方には介護予防の観点からも利用を勧めるとともにケアマネージャーと共に協力しています。

ただ認知症の方のごみ出しは苦慮する場合があります。ヘルパーさんと相談し工夫して収集の方の迷惑にならないよう配慮しています。この事業はヘルパーさんがごみ出しの時間に縛られないので、朝の忙しい時間たいへん助かっています。事業の継続を切に願います。

会 長 認定条件を満たされている方で利用者と未利用者の割合はどれくらいでしょうか。

委 員 私の事業所でヘルパーが入っているところは、80～90軒ですが、介護認定区分が低かったり家族が同居の場合は対象外なので、一割位と思います。申請されない方もおられます。申請すれば迅速に市役所は対応していただけます。現在は費用も発生しませんので特に利用をお勧めしています。

会 長 プラ一括回収の現在の状況が分かればお願いします。

事務局 本年4月から開始しました。事前周知として昨年7～8月にコミセン等で市民説明会を実施するとともに市広報紙や市ホームページ及び分別冊子等で周知啓発をいたしました。事業開始後は特に混乱や苦情等もなくスムーズな収集状況になっていると考えています。

今年度出前講座の要望をたくさん受けており、引き続き精力的に周知徹底を行っています。現時点においては、プラスチック資源に係る対前年比割合のデータはありません。

会 長 昨年度プラマーク製品の収集時に分別が悪いものはどうされていたのですか。

事務局 貼り紙をして収集できない理由を表記して残置しており、他の収集品目も同様の対応をしています。

会 長 プラスチック資源も同様の対応をして特段混乱はないということですか。

事務局 はい。

会 長 心配していたのは、収集の条件が結構あったので市民の排出が消極的になるのではという点です。排出状況の確認をしつつ対応を考える必要があると思った次第です。

会 長 資料1にあるグラフの原点は基本的に特に問題がなければゼロにしていればと思います。強調するために切られると思うのですが、トレンドを見るためには原点はゼロの方が大局的なものが見られますので、できる限りお願いします。かなり印象が変わります。

副会長 4ページ6の集団回収について、新聞や雑誌は電子化等で回収量の減少は理解しますが、ダンボールの減少については、宅配等で増加しているものと個人的に思っていましたので、理由が分かればお聞かせください。

事務局 集団回収は自治会や子ども会等で実施いただいています。よく市民から問合せを

いただくのですが、自治会や子ども会に未加入のため、古紙の排出はどうすればよいのかというものがあります。そういった場合、市内にある無人の民間古紙回収拠点や衛生センターを紹介しています。いつでも出せるので、民間への排出分が一定要因と考えています。

会 長 民間回収拠点の回収状況がもし分かれば報告をお願いします。

ダンボールは全国的に増加していると思います。

他に、何かありませんか。

委 員 プラスチック資源の回収について、分別の方法がよく分かっていません。

紙のラベルが貼ってあるものは、出してはだめですか。分別表に説明がなかったのです。

事務局 基準の表現が難しく、基準を示すと拡大解釈を心配します。シールは簡単にはがせるものはがしていただき、はがせにくいものはそのまま出していただく判断で結構です。

委 員 ラベルはリサイクルの妨げにならないのですか。説明書きはあった方が良いでしょう。

事務局 リサイクルの方は大丈夫です。出前講座などでは、記載できない説明は、口頭でお伝えしています。ラベルはできるだけはがすと判断ください。

会 長 「できるだけはがしてください。無理なものはそのままでもいいです。」の表記はしていただいてもよいのではと考えます。

よろしいでしょうか。

では、次の議題に移らせていただきます。

会 長 次の（２）城陽市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて説明を事務局から受けたいと思います。

事務局 （事務局より資料に基づいて説明）

会 長 ありがとうございます。事務局から説明を受けました。

何か、ご質問ご意見ございませんか。

副会長 説明いただいた方向で結構かと思います。ごみ量は順調に減少してきています。私が委員を務めている城南衛生管理組合の循環型社会推進会議で協議されている中で有料化の話が出ています。全国の市町村の３分の２でごみ袋の有料化になっていると聞いており、有料化がトレンドとなっている状況ですが、城陽市で有料化の話は出ているのですか。

事務局 衛管管内３市３町で足並みを揃えるものと考えており、現在、本市単独での動きというものは考えていません。

副会長 衛管と管内３市３町の今後の議題ですね。市議会で話は出ていますか。

事務局 衛管管内で具体化したものがないため、ここ最近では特に話は出ていません。

会 長 ありがとうございます。

衛管の循環型社会推進会議の提言を踏まえた対応ということでご説明いただき

ましたが、出席された委員の皆様で、内容的にこういうことを見直す、検討するという施策的なものはあったのでしょうか。

副会長 それぞれの市町が提言の項目についてどういう施策、事業を行っているのかを紹介された内容でした。そのうちの一つで、生ごみを堆肥にするキエーロを紹介していました。衛管で統一して、「こういった施策を行う」というのはなかったように思います。有料化の話については、各市町の判断ということになっています。ただ推進会議の最終の会議では有料化も有効な施策だなという感じの意見交換はあったように思います。

委 員 （私も推進会議の委員で）各市町の現状報告は記憶しています。

ちなみに、有料化の目的は、ごみ処理量の減少が第一なのか、ごみ袋の売却益による歳入増加が第一なのか、全国的にどちらを重視しているのかです。

会 長 90年以降、通常第一の目的は減量化ですが、当然手数料収入も自治体としては目指していて、重視の割合は各自治体の裁量です。減量だけでなく費用負担の公平性という観点、減量に取り組んでいる人とそうじゃない人が適切な負担バランスがあるべきというところです。いくつかの観点で目的を設定しています。自治体によっては財政当局から有料化をしてほしいという話があるというのも聞いています。

委 員 これほど各市町で実施されていますので、ある程度の数字は見えてくるのではと考え、その数字を知りたいと思います。同規模の自治体でごみ量がこれだけ減少して費用負担が減少しました、ごみ袋の売却収入がこれだけありました、などの数字を具体的に聞きたいと思います。

会 長 ごみの減量は平均10%位ですね。少ないところで5%、多めのところで20%位の減少ですね。ごみ量が減少しても有料袋は必要ですので、その分収入はありますが、袋のコストや手数料がかかりますので、そこを差し引いていくらになっているかは各自治体によってまちまちと思います。

袋の単価で一番多いのはリッター1円、45リットル袋で45円、最近は何倍の90円というところも出てきました。原価計算すると平均費用の2～3割位の負担率のケースが多いかと思います。基本、手数料は特定財源でなく一般財源ですが、自治体によってそれをある程度ごみ減量施策の方に廻すという取り決めで行っているところもあります。京都市はそうですね。又、特定財源として完全に積み立てというところもあります。

委 員 事業系廃棄物はいままでから有料ですね。そこに上乗せとなるのでしょうか。

会 長 家庭系と事業系は別でどうしているか決めていると思います。持ち込み手数料を上げる形で行うと両方に対応しますし、収集手数料的に袋代だけを徴収すれば家庭系だけ対応となります。

ただ、家庭系だけ上げて事業系を上げないのかという声がでますので、そこは、どうするのかですね。割と動きとしては独立しているのではという印象はありま

す。

副会長 全国的に見てどの地方が多いというのはあるのですか。

会 長 あります。関西圏は少ないですね。東京 23 区の多摩は 90 年代後半から熱心に取り組まれています。23 区は検討されているみたいです。

他にございませんか。

会 長 国から食品ロス削減計画を作成するようあったと思うのですが、独立して作成するのか基本計画の中に組み込むのかですね。独立はたいへんですので、多くは廃棄物の基本計画に組み込まれます。それについて予定をお聞かせください。

事務局 51 ページに目標数値を掲載しています。この中の下から 2 段目に燃やすごみの中の動植物厨芥に掲載しています。この数値は城南衛生管理組合で 2 カ月に 1 回組成調査されたもので、城陽市独自の組成調査は困難と考えこの数値を参考に計画の中に入れたものです。今回見直しの数値につきましても同様の考えを持っています。この数値が減少すれば食品ロスも減少するととらえています。

会 長 当時独自の組成調査はやらないとのことでしたので、衛管の数値を基に入れていただきました。国の方もできるだけ入れるように言ってきています。今後施設計画など考えると考えざるを得ないと思います。

2 市 1 町の乙訓の組合は組合が率先して各市町を個別にサンプリングを行って組成を出しています。ぜひ、城南衛管が音頭を取って各市町が無理なら 3 市 3 町共通の組成割合を作成いただく検討は必要だと考えます。食品ロス削減計画を作成することとなると目標値と施策及びスケジュールをパッケージにして立ち上げる必要がありますので、組合の方と交渉となると思いますが、そこは今回イメージして動いてほしいと思います。ぜひ検討をお願いします。

事務局 今回中間見直しということで、できるだけ現状の計画の時点修正を考えているところです。本体の計画期間が満了になった時点で新しい数値にするなどの大きな見直しを予定しており、今回はできれば基本的な実績見直しを想定しています。ご提案を受けどういった対応ができるか整理したいと考えます。

会 長 本来、当初から作成すべきところを後ろ倒しにしていたので、今回やらないという理由はあまりよくないのではと思いますので、十分検討をお願いします。

他に、何かございませんか。

会 長 SDG s の関係でフードドライブ、高齢者の関係、プラの関係等すべて SDG s の各ターゲット、目標と絡んだ話になります。せっかくいろいろと取り組んでいるので、そういったことが SDG s の目標達成につながっているということをぜひ記載いただければいいのではと思います。

他に、いかがでしょうか。

無いようですね。事務局何かありますでしょうか。

事務局 本日は委員の皆さん真摯に議論いただき誠にありがとうございました。

さきほど報告いたしました、一般廃棄物処理基本計画の中間見直しにつきまして、

スケジュールに沿って進めていきたいと考えています。

次に、次回審議会の開催ですが、今年11月頃を考えています。近づきましたらご連絡をさせていただきます。よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

会 長 委員の皆さんこの機会に何かございませんか。

ないようですので、以上で終了とさせていただきます。

ありがとうございました。